

高齢化、人口減少時代の社会インフラの提供

2018年度の活動目標・実績と2019年度の目標

○:達成 △:わずかに届かず ×:大きく未達成

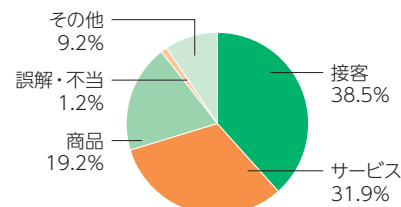
課題	2018年度の目標・計画	2018年度の実績・成果	評価	2019年度の目標
育児・高齢者支援など	<ul style="list-style-type: none"> ●プレママステーション・カウンターの継続と親子参加型イベント・マタニティ教室の開催⇒助産師単独ではなく専門販売員や取引先スタッフと連動し内容を更に充実化 ●SNS配信継続 ●新規育成 シューフィッター:10人 フォーマルスペシャリスト:5人 ハートフルアドバイザー:15人 ●認知症サポーター:717人 累計5,000人 ●こども靴下取り足数:90,730足 	<ul style="list-style-type: none"> ●プレママステーション・カウンター実績:15,708名(うちリピーター4,782名)親子参加型イベント他、マタニティ教室開催、取引先連動講習会を実施 ●SNS配信で顧客化の強化を実施(SNS発信によるサービスはほぼ一巡した為、イベント等開催にシフト) ●新規育成実績 シューフィッター:6人 フォーマルスペシャリスト:8人 ハートフルアドバイザー:30人 ●認知症サポーター:428人 累計:4,711人 ●こども靴下取り足数:95,315足 	<p>○</p> <p>△</p> <p>△</p> <p>×</p> <p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●プレママステーション・カウンターの継続と親子参加型イベント・マタニティ教室、取引先連動講習会の開催 ●利用客数拡大の取組を再強化(告知、イベント回数頻度、取引先連動企画の見直し) ●新規育成目標 シューフィッター:10人 フォーマルスペシャリスト:5人 ハートフルアドバイザー:15人 ●認知症サポーター:489人 累計:5,200人 ●こども靴下取り足数:91,644足
地域活性化への協力	<ul style="list-style-type: none"> ●地域と密着したイベントを継続実施 ●期日前投票所設置により投票時の利便性向上の継続実施 ●店舗が主体となり、それぞれの伝統・技術・文化・地域限定商品、特産品の紹介、販売を推進 ●店舗間での各地域限定商品、特産品の情報共有・告知・販売の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ●「グリーンカーテン」「打ち水」「お仕事体験」「フードバンクキャンペーン」等の地域(行政・学校など)と連動したイベントを実施(各店舗) ●4店舗に期日前投票所を設置(池袋本店・千葉店・東戸塚店・福井店) ●地元の学校やサークル等への発表の場の提供(各店舗) ●神奈川県のアナテナショップ「かながわ屋」が、そごう横浜店B2Fにオープン ●定期的な催事開催および、中元・歳暮で地元の商品をクローズアップ(各店舗) 	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●次世代に向けSDGsと連動した教育を実施(「グリーンカーテン」、「打ち水」「お仕事体験」「フードバンクキャンペーン」「夏休みSDGsイベント」等) ●期日前投票所設置により投票時の利便性向上の継続実施 ●店舗が主体となり、それぞれの伝統・技術・文化・地域限定商品、特産品の紹介、販売を推進(継続) ●店舗間での各地域限定商品、特産品の情報共有・告知・販売(継続) ●LGBTへの対応 行政等地域と連携した理解促進と従業員に向けた研修の実施 ●地元大学との連動 出張授業、学生主体のイベント実施

商品や店舗を通じた安全・安心の提供

お客様相談受付関連データ

各店のお客様相談窓口へ寄せられた「お客様の声」を受けて、接客レベルの向上・商品の品揃え・付帯サービス・施設の改善などに活かせるよう社内で共有。お客様のご不満の解消と、顧客ニーズを営業施策に反映するための活動を推進してきました。また、営業終了店舗のお客様対応については、「お客様対応窓口」を設置して対応。今後も、「お客様の声」からのご意見・ご要望を受けて、お客さまの求める商品・サービスの提供を実践し、店舗と本部が連携して、顧客満足の向上と維持に努めてまいります。

2018年度相談内容の内訳 受付件数7,572件(前年度比111.4%)



課題	2018年度の目標・計画	2018年度の実績・成果	評価	2019年度の目標
商品とサービスの品質・安全性の確保				
	<ul style="list-style-type: none"> ●現場メンバーの衛生管理知識向上の継続 ●店舗ごとに食品衛生の課題を明確にし、店舗品質管理委員会のPDCA活動の実施 ●衣料・雑貨領域の商品を専門機関によるサンプリング検査実施 ●現場メンバースキルアップのために階層別研修を継続 	<ul style="list-style-type: none"> ●小冊子「食品衛生管理の基本ポイント」や動画・DVDを研修、朝昼礼や現場指導で活用 ●店舗品質管理委員会で月次課題を整理し改善・検証を実施 ●ベビー衣料、婦人衣料、季節商品等サンプル検査を月次でテーマごとに実施 ●現場メンバースキルアップのために階層別研修を19回実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ●現場メンバーの衛生管理知識向上の継続 ●店舗ごとに食品衛生の課題を明確にし、店舗品質管理委員会のPDCA活動実施の継続 ●衣料・雑貨領域の商品を専門機関によるサンプリング検査実施の継続 ●現場メンバースキルアップのために階層別研修を継続
安心して利用できる店舗・設備の整備				
	<ul style="list-style-type: none"> ●横浜店の多目的トイレの改修 ●ユニバーサルデザイン視点での点検を継続 	<ul style="list-style-type: none"> ●店舗改装計画の見直しに伴い、トイレの改修も2019年度に計画先送り ●渋谷店案内所に筆談ボードを設置 ●EV内に後方確認用鏡を設置 	<ul style="list-style-type: none"> × ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ●横浜店の多目的トイレの増設 ●ユニバーサルデザイン視点での点検を継続
適切な情報提供				
	<ul style="list-style-type: none"> ●専門機関と提携した「表示」の確認・点検を実施し、適切な表示と情報開示を継続 	<ul style="list-style-type: none"> ●食品・飲食(厨房・売場)衣料・雑貨を対象に専門機関の「表示」点検を165回実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ●専門機関と提携した「表示」の確認・点検を実施し、適切な表示と情報開示を継続
お客様の声への誠実な対応(体制)				
	<ul style="list-style-type: none"> ●「お客様の声」からのご意見・ご要望を受けて、店舗と本部が連携して、さらなる従業員のサービスマインドの向上を推進 ●お客様からのご不満の声の削減:3,100件以下 	<ul style="list-style-type: none"> ●継続して「お客様の声」を活用した「サービス注意報」を毎週発信し、ご不満の解消とサービスマインド向上の活動を継続して実施。 ●「ご不満の声」は2,991件(目標差▲119件) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ●「お客様の声」からのご意見やご要望に対して真摯に耳を傾け、店舗と本部が連携して問題解決を図り、さらなる従業員のサービスマインドの向上を推進。 ●お客様からのご不満の声の削減:2,900件以下
災害時の支援				
	<ul style="list-style-type: none"> ●既に締結している「地域包括協定」や地震災害時「帰宅困難者対策」を含めた地元自治体・企業との連携・協力体制や地域活性化への関与強化 ●「防災フェア」などの開催を通じ、地域と連携した防災への意識啓発活動推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●「火災予防週間」「災害とボランティア週間」などに併せ全店で防災訓練・防災教育を実施 ●区役所、警察署、消防署等行政機関と連動した「帰宅困難者対策協議会」「駅周辺混乱防止対策協議会」へ地域事業者として積極的に参加 ●所轄消防署と連動した「自衛消防訓練審査会」や「地域防災訓練」に従業員教育の一環として継続的に参加。地域と連動した意識啓発活動推進 ●所轄消防署と連動した「働く消防の写生会」の実施を通じ、お客様への防災意識啓発活動を推進(池袋本店) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ●既に締結している「地域包括協定」や地震災害時「帰宅困難者対策」を含めた地元自治体・企業との連携・協力体制の継続 ●「防災フェア」などの開催を通じ、地域と連携した防災への意識啓発活動推進継続
地域防犯対策				
	<ul style="list-style-type: none"> ●地域と連携した防犯・防災体制へ継続的に協力 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域事業者、警察関係者と連動した「テロ対策訓練」の実施や「防犯パトロール」などに参加 ●「警察協議会」会員として警察行政に参画(池袋本店) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域事業者が一体となり、警察関係者とのコミュニケーション強化を継続する

商品、原材料、エネルギーのムダのない利用

2018年度の活動目標・実績と2019年度の目標

○:達成 △:わずかに届かず ×:大きく未達成

課題	2018年度の目標・計画	2018年度の実績・成果	評価	2019年度の目標
環境負荷の適切な把握				
	●ISO定期審査での推奨事項の拡大、指摘事項の削減	●推奨事項7件(前年度差+3件)指摘事項6件(前年度差±0件) ●不適事項0件(前年度差±0件)	○	●ISO定期審査での推奨事項の拡大、指摘事項の削減
エネルギー効率の向上と再生可能エネルギーの導入				
	●営業店舗ベースで▲1%削減 ●LED導入拡大継続	●前年比▲1.29%削減 ●9店舗266百万円を投資	○ ○	●営業店舗ベースで▲1%削減 ●LED導入拡大継続
廃棄物の削減と循環型社会の構築				
	●食品廃棄物リサイクル率:71.0%(前年+1.6%) ●廃棄物リサイクル率:70.0%(前年+2.7%) ●引き続き分別細分化による廃棄物リサイクル率の向上	●食品廃棄物リサイクル率:72.2%(前年+2.8%) ●廃棄物リサイクル率:69.6%(前年+2.3%)	○ △	●食品廃棄物リサイクル率:73.2%(前年+1.0%) ●廃棄物リサイクル率:70.6%(前年+1.0%) ●引き続き分別細分化による廃棄物リサイクル率の向上(継続)
生物多様性への対応				
	●植樹:1,500本 ●グリーンラッピング目標:63,180件 ●社員ボランティアによる植樹活動実施	●植樹:1,446本 ●グリーンラッピング実績:54,766件 ●社員ボランティアによる植樹活動実施(山梨県笛吹市)	△ × ○	●植樹:1,500本 ●グリーンラッピング目標:54,009件 ●社員ボランティアによる植樹活動実施
従業員への意識啓発				
	●環境e-ラーニング:全従業員受講 ●エコ検定受験者:140名 合格率:90% ●CSVアイデアコンペ最優秀案の実現	●環境e-ラーニング:全従業員受講 ●エコ検定受験者:111名 合格率:93.7% ●CSVアイデアコンペ「渋谷リメイクバッグプロジェクト」(10/9~11/5) 渋谷区内の産官学が連携し、使用済懸垂幕で、バッグを製作して販売	○ △ ○	●環境e-ラーニング:全従業員受講 ●エコ検定受験者:140名 合格率:90% ●第2回CSVアイデアコンペ最優秀案の実現

環境関連データ

課題	単位	2016年度	2017年度	2018年度
店舗数	店舗	23	17	15
CO ₂ 排出量 ^{※1※2※3}	t-CO ₂	171,690	142,853	123,507
店舗運営に伴うCO ₂ 排出量 ^{※1※3}	t-CO ₂	171,052	142,241	123,062
店舗運営に伴う電気使用量 ^{※1}	GWh	315	261	221
店舗運営に伴う水使用量 ^{※1}	千m ³	2,128	1,855	1,656
容器包装使用量	t	1,395	1,276	1,280
廃棄物量(リサイクル率)	t(%)	29,390(62.4)	24,310(67.3)	21,226(69.6)
食品廃棄物のリサイクル率	%	61.7	69.4	72.2

※1 集計期間は4月~3月。

※2 店舗運営・法人外商部・本部・物流センターの運営に伴うエネルギー使用に由来するCO₂排出量。

※3 CO₂排出量は「セブン&アイHLDGS.グループ共通CO₂排出量算定マニュアル」に沿って算出しています。

2018年度の活動目標・実績と2019年度の目標

○:達成 △:わずかに届かず ×:大きく未達成

課題	2018年度の目標・計画	2018年度の実績・成果	評価	2019年度の目標
能力向上支援				
	●新規受講:2,000人 販売基礎研修:延べ1,400人 キャリアアップ研修:延べ600	●新規受講者数:1,900人(内訳) 販売基礎研修:1,200人 キャリアアップ研修:700人	△	●新規受講数:1,800人(内訳) 販売基礎研修:1,200人 キャリアアップ研修:600人
ワークライフバランスの実現				
	●えるばし認定取得 ●時短勤務シフト制度の拡大 ●育児・看護・介護休暇取得利用者数の拡大	●2018年9月 えるばし第3段階認定 ●計画的なシフト取得を可能とする新制度を導入 ●育児・看護・介護休暇取得者数:211人(前年同水準) ●社内広報誌9・10月号男性育児休職事例紹介	○ ○ △	●年間総労働時間の見直し(年間所定休日の拡充) ●年次有給休暇の取得促進(半休取得上限の拡大) ●パートナー社員の休暇制度の見直し ●出産・育児支援制度の更なる周知
多様な人材の活躍				
	●契約社員からの正社員登用数:50人 ●専門人材の中途採用数:5人 ●女性管理職比率(課長級以上):13% ※2020年度目標:20%	●契約社員から正社員登用数:57人(目標比114%) ●専門人材の中途採用数:5人 ●女性管理職比率(課長級以上):13.1%(39人) 目標差+0.1%	○ ○ ○	●契約社員から正社員登用:50人 ●専門人材の中途採用数:5人 ※2019年度は上期のみ実施 ●女性管理職比率(課長級以上):15.1%(45人)
労働安全衛生への配慮				
	●BMI25%以上の社員改善に向け各事業所における健康増進活動の展開	●メタボリックシンドローム是正のため、社員食堂を活用した健康キャンペーンを展開	○	●BMI25%以上でかつ生活習慣病リスクが高い社員への健康増進活動の展開

人事関連データ

従業員の内訳(2019年2月末)		(人)
正社員 ^{※1}		3,088
	男性	2,024
	女性	1,064
パートタイマー ^{※2}		2,713
	男性	282
	女性	2,431
従業員数(正社員数+パートタイマー数)		5,801
	男性	2,306
	女性	3,495
新卒採用者数		52
	男性	22
	女性	30
中途採用者数		0
	男性	0
	女性	0

	2016年度	2017年度	2018年度
正社員平均勤続年数	22年7カ月	22年8カ月	22年8カ月
育児休職取得者数 ^{※3} (うち男性、パートタイマー)	225人 (2,108)	222人 (5,118)	220人 (8,116)
介護休職取得者数 ^{※3} (うち男性、パートタイマー)	9人 (2,5)	7人 (0,4)	7人 (0,5)
ボランティア休暇取得者数	制度なし	制度なし	制度なし
女性管理職数(比率) ^{※4}	459人(34.6%)	400人(34.0%)	366人(33.7%)
	係長	381人(52.4%)	338人(54.0%)
	課長	40人(12.2%)	34人(11.1%)
	部長	36人(14.0%)	28人(12.0%)
	役員	3人(12.5%)	3人(13.0%)
障がい者雇用率 ^{※5}	1.86%	2.16%	2.25%
正社員有給休暇取得率	22.0%	27.4%	24.4%
労働災害度数率	0.76	0.37	0.33
労働災害強度率	0.01	0.00	0.01

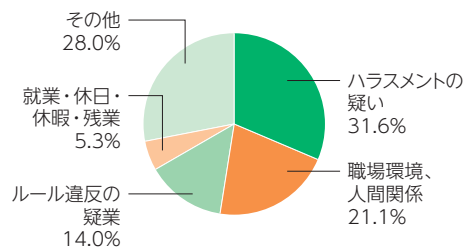
※1 定年再雇用者307人を含みます。
 ※2 1日8時間換算による月平均人員。契約社員を含みます。
 ※3 該当年度中に取得した人数。(前年からの継続+新規取得)
 ※4 係長級以上の比率。
 ※5 年度の数値は翌年度の6月1日現在の数値。

従業員相談受付関連データ

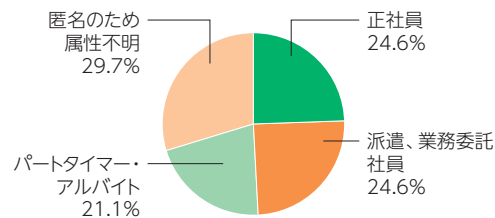
今年度の受付件数は前年度より約10%増加し、相談内容としては、パワハラ・職場環境に起因する案件が全体シェアの5割超となる結果となりました。これは、従業員相談窓口(社内通報制度)の周知徹底とともに、相談者自身が活用への抵抗感が小さくなったことも影響していると考えております。

当社では、リスクマネジメントの徹底強化について継続して取り組んでおり、従業員に対するコンプライアンス・リスクマネジメントの研修を定期的に行っております。また、相談案件に対しては、顧問弁護士による助言や関連部門と連動を図り、改善措置と再発防止に取り組んでおります。今後も、従業員相談窓口の信頼性向上と事件事故の未然防止に努めてまいりたいと考えます。

2018年度相談内容の内訳 受付件数57件(前年度比114%)



相談者の内訳



お客様、お取引先を巻き込んだエシカルな社会づくりと資源の持続可能性向上

2018年度の活動目標・実績と2019年度の目標

○:達成 △:わずかに届かず ×:大きく未達成

課題	2018年度の目標・計画	2018年度の実績・成果	評価	2019年度の目標
環境に配慮した商品の提供	●アラスカシーフードの紹介・販売フェアの継続実施	●アラスカシーフードフェア:8店舗で実施/お歳暮カタログ掲載	○	●アラスカシーフードフェア、お歳暮カタログ掲載継続実施

環境関連データ(詳細)

データ推移(2014年度~2018年度)

項目		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
全社CO2排出量	t-CO2	194,315 ※1	193,101 ※1	171,690 ※1	142,853 ※1	123,536 ※1
店舗運営に伴うCO2排出量	t-CO2	193,578 ※1	192,417 ※1	171,052 ※1	142,241 ※1	123,062 ※1
店舗運営に伴う電気使用量	GWh	341 ※1	339 ※1	315 ※1	261 ※1	221 ※1
店舗運営に伴う水使用量	千m3	2,265 ※1	2,262 ※1	2,128 ※1	1,855 ※1	1,656 ※1
店舗運営に伴う廃棄物発生量	t	30,880	31,334	29,390	24,310	21,226

※1 2018年2月改定の「セブン&アイHLDGS.グループ共通CO2排出量算定マニュアル」による算定(集計期間:4月~3月、電気使用に伴うCO2排出係数:温対法と同値)

2018年度実績及び中長期目標

項目		2018年度実績		2018年度目標		2019年度目標	2020年度目標	2030年度目標
		実績	原単位 ※2	目標	評価 ※3			
全社CO2排出量 ※1	t-CO2	123,536	98	125,587	○	122,301	121,078	98,041
店舗運営に伴うCO2排出量 ※1	t-CO2	123,062	99	124,981	○	121,832	120,614	97,513
店舗運営に伴う電気使用量 ※1	GWh	221	0.177	223	○	218	-	-
店舗運営に伴う水使用量 ※1	千m3	1,656	1.328	1,633	△	1,639	-	-
店舗運営に伴う廃棄物発生量	t	21,226	17	21,645	○	21,014	-	-
再生可能エネルギー利用量 (太陽光パネル設置による拡大)	MWh	4	0.003	4	○	4	4	4

※1 「セブン&アイHLDGS.グループ共通CO2排出量算定マニュアル」による算定(集計期間:4月~3月、電気使用に伴うCO2排出係数:温対法と同値)

※2 延床面積[千m2]当たり原単位

※3 ○:達成 △:わずかに届かず ×:大きく未達成

2018年度店舗データ

店舗	CO2排出量 [t-CO2] ※	電気使用量 [GWh] ※	水使用量 [千m3] ※	廃棄物発生量 [t]
池袋本店	25,565	51	476	4,463
渋谷店	7,636	16	107	978
所沢店	4,756	10	61	813
東戸塚店	4,427	8	76	1,139
大津店	4,070	9	51	1,075
福井店	4,653	8	38	365
岡崎店	2,649	5	31	225
秋田店	2,816	5	26	400
横浜店	15,060	29	267	3,783
千葉店	17,859	25	172	2,558
広島店	12,426	16	106	1,470
大宮店	7,503	15	84	1,242
川口店	5,523	12	71	838
西神店	2,438	5	38	1,055
徳島店	5,680	8	51	821
店舗合計	123,062	221	1,656	21,226

※ 「セブン&アイHLDGS.グループ共通CO2排出量算定マニュアル」による算定(集計期間:4月~3月、電気使用に伴うCO2排出係数:温対法と同値)

2018年度環境会計

環境保全コスト (百万円)		
投資額	経費額	主な内容
577 (282)	1,210 (1,242)	LED導入 (12店舗)
経済効果 (百万円)		
効果額	主な内容	
566 (464)	環境商材売上利益、LED導入による省エネ効果 他	
環境保全効果		
効果	主な内容	
電力3,517 (1,843) [千kWh] 削減	LED導入による省エネ効果 他	

※ () 内は前年

2018年度サプライチェーンを通じたCO2排出量

区分	カテゴリ	CO2排出量 [t-CO2]	
		排出量	構成比
スコープ1	直接排出	6,547 (7,408)	0.4% (0.4%)
		116,989 (135,445)	7.1% (7.3%)
スコープ2	購入した製品・サービス	1,270,509 (1,437,620)	77.2% (77.9%)
	資本財	51,542 (34,402)	3.1% (1.9%)
	Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動	11,577 (13,253)	0.7% (0.7%)
	輸送、配送(上流)	15,377 (18,314)	0.9% (1.0%)
	事業から出る廃棄物	1,632 (1,937)	0.1% (0.1%)
	出張	415 (501)	0.03% (0.03%)
	雇用者の通勤	1,414 (1,610)	0.1% (0.1%)
	リース資産(上流)	算定対象外	
	輸送、配送(下流)	1,270 (1,624)	0.08% (0.09%)
	販売した製品の加工	算定対象外	
	販売した製品の使用	19,452 (22,109)	1.2% (1.2%)
	販売した製品の廃棄	114,593 (131,328)	7.0% (7.1%)
	リース資産(下流)	22,703 (25,580)	1.4% (1.4%)
	フランチャイズ	算定対象外	
	投資	算定対象外	
その他	従業員の家庭での電力使用による排出	12,495 (15,271)	0.8% (0.8%)
スコープ3	その他の間接排出	1,522,978 (1,703,549)	92.5% (92.3%)
		合計	1,646,514 (1,846,403)

※ () 内は前年